

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

神戸新聞社講話を聞いて、私は新聞に一番大切なことは「相手のことを知る、知ろうとすることだ」と思いました。トライでは、食べ物に興味があるから「洋風食堂カサエ」を選びました。「5W1H」は去年家庭科の授業でも学んだけれど、取材するときにも役立てることができると知って、どんなことを学んでもいろいろなことにかん連づけることができたなら、一気に世界が広がると思いました。70年先に同じかたちの企業はなっていて、今過ごしている日々の思い出のものを店に関わる仕事につけないかもしれないのがさみしいなと思いました。どんな仕事でもお客さんのために努力してくれていると知って、私が働くときに次の世代に今の大人たちがしてくれたことをつなげていきたいと思いました。少子高齢化で仕事をうけつぐ人が減ったり、介護する手が足りなくなったりして、これからの日本や地球は大丈夫なのか心配になりました。お父さんやお母さん、ばあちゃんなどの周りの大人が毎日している仕事について、トライで知って、働いてくれている人たちに敬意をもてるようになりたいです。今回学んだことをトライだけでなくお

心に残った言葉

学ぶこと、未来の選択肢の幅を広げる

(2)年 (1)組( )番名前

わざわざ  
これから  
人生にも  
なげて  
いきたい  
です。

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

正直、私は新聞を真剣に読んでいたことがありません。でも、今日の講話を通して新聞に込められていた思いや工夫を知ることができました。だから、新聞に対して興味をもつようになり、記者の人たちのことを尊敬するようになった。取材する時は、相手のリズムに合わせて、具体的に聞くことの大切さを知ることができました。

3週間後にはトライヤウウィークがあります。その日は、記事の意味について考えながら書くことができます。トライヤウウィークが終わると新聞作成があります。その時は今日のことを思い出しながら書くことができます。改めて、新聞に込められていた工夫を知ることができました。だから、これから先、新聞の裏側にも目を向けていきたいと思います。今日はありがとうございました。

心に残った言葉

弱い人を守る

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

今回の新聞社講話で、どのように新聞を  
まとめたら見ている人に分かってもらえるか  
知ることができました。西島校外学習の  
時に新聞を作ってみました。その時は「5W1H」  
を意識せずに新聞を作っていました。でも、  
講話で、どういふことを意識して書くとい  
いのかを教えて頂き、今回のトライやる・ウィーク  
の新聞作りにかまして、最高の新聞を作ろ  
うと思いました。新聞作りに大切なのは、  
「ほかの人たちと絶対違う新聞をつくる」と  
いうことを知って、めっちゃいい新聞を作っても、  
誰かと同じものだったら、いい新聞では  
ないのかなと思いました。講話で学んだこ  
とを、今回の新聞作り、その次の新聞作りな  
ど、これから先の作品にかかしていきたく  
いです。努力して、色々な人に新聞を見てもらいたいです。

心に残った言葉

ほかの人たちと絶対違う新聞をつくる

(2)年 (1)組( )番名前

今日の新聞講座でどんな質問をしたらいいとか、何個くらい聞けばいいとかよくわかりました。どんな角度で写真を撮ればいいのかもよく分かった。

今回の新聞講座を聞くまえは、トラヤルに行く意味があまり分からなかったけど、三姉妹様の話を聞いてなせトラヤルに行くのかがわかりました。

今日番心に残った言葉は5W1Hという内容です。それを元に記事を書けば誰もがわかりやすい新聞になるということを学びました。ぼくはまもなく水市場に行きますが、食堂で人気のメニューが何なのかを番知りたいので、土方鰯島で取れた魚かーのようなことにお客様に届かーたいです。

心に残った言葉

5W1H

今日の神戸新聞社講話を聞いて、  
新聞のインタビューでは、5W1H+Which  
をすることか大切なこと分かりました。  
What(何?) When(いつ?) Where(どこ?)  
Why(なぜ?) Who(だれ?) How(どのくらい?)が  
トライやる・ワークでせたいにインタビュー  
とかをすることかあると思うので  
5W1H+Whichを必ず忘れないよう  
にしようと思いました。

ニュースの写真のとり方で、少しでも  
とる角度が変わったりするだけで  
雰囲気全然違うことが分かりました。  
私は姫路美容理容専門学校に行きます。  
姫路美容理容専門学校でたくさんのこと  
学び知り、大切なことを考えたいと思いました。

心に残った言葉

人間を書く

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

私は今日の新聞講座で、インタビューするときには5W1Hが大切であるということが一番印象に残りました。私はこれをきいて確かにいつどこで誰がなにをなぜどのようにかあると、とても分かりやすい文章になるなと思いました。実際に行ってみないと分からないにおいて音声雰囲気などの五感を書くことや、ファンという姿勢で臨むこと、知、たかぶりをせずに素朴な質問をする、など、とても役に立ちそうな技術がたくさんありました。

私はトライやるウィークで洋食屋に行きます。働いてみないと分からないことがたくさんあると思うので、今日学んだ技術を使って、正確に伝える新聞を書きたいです。

心に残った言葉

人間を書く

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

5W1H when(いつ) where(どこ) who(だれが)  
what(なに) why(なぜ) How(どんな)が新聞を書く  
時に大切だとわかった。その中でもHowが特に  
大切だとおしえてもらった。詳しく、具体的に  
書かないと同じような記事になってしまうことが  
わかった。体験の中で「五感が大切だ」として  
においや音などの細かいところまで感じて  
くるのが大切なんだなと思った。下調べを  
しすぎたり段どりを決めすぎるとインタビュー  
がしにくくなることがわかった。ファンという  
姿勢で臨むという話をきいて好きな物な  
ら知りたいと思えるからたしかにと思った。写真  
をとる時にストーリーをとるというのは相手に伝  
えたりやすくなるんだなと思った。人間を書  
くのが記者の醍醐味ときいて人間を  
書くとはどのようなことなのかなと思った。

心に残った言葉

ファンという姿勢で臨む

(2)年(1)組( )番名前

感想文 神戸新聞社講話を聞いて

今日神戸新聞社講話を聞いて、今度私たちが行くトライやる・ウィークは自分にとって大チャンスだなと思いました。私は働かればいいと思っていたけど、働くことのためしさや、しんどさを理解できるチャンスだなと思いました。自分の未来の選択肢の幅を広げるのは今の自分でもできることなので、トライやる・ウィークで夢をみつけるきっかけをつくっていきたいです。

正解という歌をきいて今まではなにをしたらいいか教えてもらってきたけど大人になると自分でなにをしたらいいかという答えを探しにいかなければならないことがとても心に残りました。自分のいつかのために今から努力して仕事がしゅみになるぐらいこのトライやる・ウィークを一生けん命取り組みたいです。

心に残った言葉

未来の選択肢の幅を広げる



感想文 神戸新聞社講話を聞いて

今日、神戸新聞社講話を聞いて 5W1H がとても大切というのをよく知りました。Why、What、Who、Where、When、How を頭にしっかり入れて新聞を書いていきたいと思います。インタビューをするときに五感をつかうというのがびっくりしました。においや音、声、雰囲気までとても具体的になんだなと思いました。私も五感を用いて新聞をかきたいです。自分の言葉でその仕事の魅力をまとめてみたいですね。途中で RADWINPS さんの「正解」という歌が流れて学生までは、未来の選択肢があって何をしたらいいか解答用紙はあるけど大人になってからは自分で答えをみちびきだしていかないといけないというのがとても心にひびきました。今からでも自分の未来のために選択肢をつくっていきなすと思いうのでこのトライやるウィークを一生懸命取り組んで未来の選択肢の幅をどんどん広げていきたいです。

心に残った言葉

大人になると答えを自分で探さなければならぬ